

第20回 外国人による 日本語スピーチコンテスト 発表原稿集

2022年10月29日（土）開催

会場：福岡市科学館 サイエンスホール

主催：日本語スピーチコンテスト実行委員会

共催：福岡市、（公財）福岡よかトピア国際交流財団、福岡外国人学生支援の会

原稿は、原則出場団体からご提出いただいたものをそのまま掲載しています。

日本語教室の出場者

- | | | |
|---|-------------------------|---|
| ① 孫 華傑
(ソン カケツ)
えふえいち日本語教室 | 日本が大好きです・・・・・・・・・・ | 1 |
| ② Nguyen Thi Hai
(グエン ティ ハイ)
さくら日本語教室 | 仕事に教えられた事・・・・・・・・・・ | 2 |
| ③ 韓 栄梅
(カン エイバイ)
高取日本語教室 | 百聞は一見に如かず・・・・・・・・・・ | 3 |
| ④ 李 玲飛
(リ レイヒ)
外国人のための日本語教室 | 日本に来て初めてわかった事・・・・・・・・ | 4 |
| ⑤ Okada Prawina
(オカダ パウイーナ)
小さな国際交流の会 | やっぱり日本語頑張らなくちゃあ・・・・・・・・ | 5 |

日本語学校の出場者

- | | | |
|--|----------------------------|---|
| ① Bushal Himal
(ブサル ヒマル)
日本グローバル学院 | 日本へ来て感じたこと・・・・・・・・・・ | 6 |
| ② Mappanyompa Rukka Muhammad
(マッパニヨンパ ルッカ ムハマド)
愛和外語学院 | 日本のルールとマナーを守りましょう・・・ | 7 |
| ③ Pham Thanh An
(ファム タアン アン)
GAG 日本語学院 | 私の恩人・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8 |
| ④ 符 騰
(フ トウ)
学校法人麻生塾 | LGBTQ の人々を理解してください・・・・・・・・ | 9 |

氏名	孫華傑（ソン カケツ）	
テーマ	日本が大好きです	
教室名	えふえいち日本語教室	

私は孫華傑です。中国人です。中国遼寧省大連市の出身です。

中国では、私は骨董品店を経営していました。2011年ごろに中国では骨董品はどんどん少なくなったので、新しく骨董品を探すことが難しくなりました。直接外国から骨董品を輸入するのが業界で流行しています。それで、日本で会社を設立して骨董品を中国に販売したいと思いました。

平成25年7月に日本に来て会社を設立しました。憧れていた日本で多くの絵画、茶道具、陶磁器に触れることができるとても楽しかったです。そして、多くの美術品店、骨董品店を見て回ったのを覚えています。これもたのしかったです。日本にはたくさんの骨董品があるので、私の仕事にはとても役に立ちます。大変うれしいです。

それから、日本人がやさしくてあたたかいことも大好きです。いま私は日本にきて9年たちました。日本の町でけんかを見たことが一度もありません。世界でも珍しい国でしょう。ほんとにやさしい日本人です。私は日本語の先生にいつも丁寧に日本語を教えてもらっています。ほんとにありがとうございます。

また、日本料理は非常に繊細でとても美味しいです。食べ物では、特に天麩羅、焼き鳥がすきです。のみものでは、Asahiの生ビールが一番大好きです。私が住んでいる福岡でも市内から田舎に出ると美しい風景に出会えたり、少し足をのばすと大分までいけます。自然の中にある温泉にゆっくり浸かったり、山に登って花を摘んだりすることも大好きです。まるで、日本が自分が生まれ育った国であるかのような気持ちになります。

今、私は5人家族で福岡で幸せに暮らしています。日本に感謝しています。福岡にも感謝しています。これからも日本語を一生懸命勉強して、生活や仕事をたのしもうと思います。

どうもありがとうございます。

氏名	Nguyen Thi Hai (グエン ティ ハイ)	
テーマ	仕事に教えられた事	
教室名	さくら日本語教室	

こんにちは。ベトナム出身のグエン ティハイと申します。3年前から、外資系ホテルのレストラン部門で働いています。

皆さん！皆さんは、今の仕事を辞めたいと思ったことはありませんか。私は、あることが原因で、働き始めて1年くらいはずっと辞めたいと思っていました。ただ、生活のために働き続けているという感じでした。何故、辞めたいと思ったのか、そして今では、何故続けていこうと思っているのか。そのことをこれから、皆さんにお話したいと思います。

3年前レストランで新米の私は、2人の若い女の子を席に案内しました。彼女達は、はじめ私の顔をじーっと見ていました。そして私の説明を聞いたとたん、女の子の1人が突然あざけるように笑い出しました。別の日には年配の男の人にも「何を言ってるのか分からない」という顔をされ別の案内係が呼ばれたのです。

私は、すんなりと、日本の企業で働けると思っていました。なぜなら日本語学校では奨学金を貰えましたし、専門学校でもわりと優秀だと先生たちに褒められていたからです。ところが、入社した最初の時から、いきなり大きなショックを受けたのです。

それからは緊張で、お客様に対して言葉が出なくなりました。言葉を話しても、全く理解して貰えないのです。更には、同僚にも言いたいことがうまく伝わらないのです。学校ではうまく話せていたのに、話したいことが日本人にも伝わっていたのに。どうして、どうしてと悩みました。

それからは毎日お客様にどう言えば分かりやすいかと何度も何度も言葉を口に出して練習しました。その甲斐あってか、お客様にも笑われないで済むようになりました。

そんな矢先、案内する席を間違えるという大きな失敗をしてしまったのです。もう最悪です。先輩には「君、昨日入社したの？」と言われる始末です。私は本当は、この仕事に向いてないんじゃないか、やめた方がいいんじゃないかと真剣にやめる事を考えていました。

そんな時に洗い場のおばちゃんが「ハイちゃん大丈夫？何かあったら話してね、心の中にしまったままでは病気になるかもよ」と支えてくれました。

又留学した事がある仕事仲間は「ハイちゃんの気持ちが良く分かるよ。勇気を持って頑張るってね。仕事で分からない事があったらいつでも聞いてね」と言ってくれました。

周りの人々からの温かい励ましや応援のおかげで諦めないで、必死に頑張っていこうと思うようになりました。

あとから考えると、何故おばちゃん達が声をかけてくれたのか分かったような気がします。きっと私が失敗にめげず立ち向かっている事を知ってくれたのだと思います。

勿論、日本語も重要ですが、もっと大事なものもあるように思います。

レストランでいろいろな事があったからこそ私の心は強くなりました。もう3年経ちましたが私が色々経験した事をこれからは後輩に教え指導していきたいと思います。

そして今の私の目標は自分の殻を破る事です。今日のスピーチコンテストに出て皆さんの前で話をする事も大きな挑戦なのです。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	韓 栄梅 (カン エイバイ)	
テーマ	百聞は一見に如かず	
教室名	高取日本語教室	

みなさん、こんにちは。私は、韓 栄梅と申します。中国の美しい、海辺の町、大連から来ました。夫は熊本出身の日本人です。中国留学中に会い、14年前に大連で結婚して暮らしていましたが、夫の日本転勤で、3年前から子供3人と家族5人、福岡で暮らしています。

漢字を使う中国と日本の文化は似ていますが、違うところもあります。

初めて日本に来た時、特に驚いたのが「日本のカラス」です。中国ではカラスはめったに見かけません。でも、日本のカラスは人を恐れず、どこにでもいます。日本人はカラスをいったいどう思っているのでしょうか？人に聞いたり、調べてみました。

日本のカラスは伝説の「神様の使い」で、初代の天皇の道案内をして、勝利をもたらしたそうです。このため、日本代表サッカーチームのユニフォームの胸には、三本足のカラスが付いている、ということでした。また、中国ではこのようなことはありません。

日本に来て改めて感じたこともあります。

来日前は「日本人は冷たい」と思っていたので、周りの人とお付き合いができるだろうか？子供は、友達ができ、仲良く元気に遊べるだろうかなど、色々心配しました。でも、子供たちは、福岡の公立の学校に通ってすぐに、友達ができ、楽しく遊んでいます。わたしも、高取の教室で、日本語の勉強のほかに、生け花や茶道や着物の体験など、日本の文化を楽しんでいます。周りの人も親切で、新しい生活に慣れました。

日本来る前に日本は小さい島国だと思っていました。

しかし、実は自然が豊かで緑が多く、水もきれいです。国土の3分の2が森林というのもうなずけました。自然保護にも熱心で、身近に自然を満喫できる環境がたくさんあります。私の家族では、休日に糸島の森でアスレチック、川でつり体験、大分では温泉など九州の自然に親しんでいます。特に夫の実家熊本でするバーベキューは格別の味です。このように、生き物に優しい気持ちと自然を守ることで、社会生活の調和が保たれていると感じました。

中国の母は、いまでも電話で「早く帰っておいで」と心配してくれます。もちろん、わたしも中国がなつかしいです、でも、私はこう答えています。

「福岡は、人が優しく、食べ物は新鮮でおいしいし、暮しやすい町。帰りたくないわ。」

まさに「百聞は一見に如かず」。このことわざは中国でも日本でも同じですね。そして「案ずるより産むが易し」と、これからも福岡の生活を楽しみ、色々チャレンジしていきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	李 玲飛 (リ レイヒ)	
テーマ	日本に来て初めてわかった事	
教室名	外国人のための日本語教室	

皆さん、こんにちは！中国の北京から来た**李玲飛**と申します。北京の国際シンクタンクで働いていました。今日は「日本にきて初めて分かった事」について、お話ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

日本に来たばかりの頃、中国の友達から電話がありました。「李さん、日本の生活はどう？日本人は人にあつたら、本当に、先に頭を下げるの？」「ほんとうですよ」と、私。「大変ね。お大事に！」と、彼女。ジョークですが、確かに**第一**に感じたことは、日本人はよく頭を下げる事です。

ある日、三人の女性が街で別れるのを見ました。「今日はごちそうさまでした」とか、お互いに、礼を言いながら、少なくとも**6**回頭を下げていました。

また、車ですれ違う時、こちらが「お先にどうぞ」と合図をしたら、向こうに乗っている二人も頭を下げました。はじめてこれを見た時は、びっくりしました。

また別の日、バスに乗ったら、私の隣の人が「失礼します」と言ってから、座りました。なんと丁寧なんですよ！

第二は、日本人は「ノー」と言いたい時も、まずお礼を言います。

以前の私は「コーヒーいかがですか？」と聞かれたら、「いいえ、夜ねむれないから、結構です」と、すぐ断っていました。でも、日本人はいつも「あっ、ありがとうございます。ですが、ちょっと、、、」と言うようです。

第三は、日本で電車やバスに乗る時は、絶対電話をかけてはいけません。

四年前のこと。女の子が電話しながらバスに乗って来ました。すると、おばあちゃんが突然大きな声でその女の子を叱りました。分かってはいましたが、こんなに厳しいとは思いませんでした。

そのほかにも、初めて分かった事がたくさんあります。**要するに、**日本人はいつも相手の気持ちを考え、できるだけ、相手が不愉快にならないようにしています。この考え方がわかると、いろんなことが理解できます。

こんな体験は、ほぼ最初の一年間のことでした。いまはそれほど新鮮な感じではないけれど、はじめて体験した時の感動やショックをいまでもよく覚えています。

冒頭の友達からもう一つ聞かれました。「なんであなた、国のシンクタンクの仕事をやめて、日本に行って、主婦になるの？」「主人と一緒に生活したいから」と、その時の返事。

いま、日本に住んでいて、まもなく五年の私は、来日した事はとてもラッキーだと思っています。なぜなら、日本に来て、日本語を勉強していると、新しい世界が開けたように感じるからです。日本人とのコミュニケーションができたり、日本語で新聞や本が読めたり、いろんな事ができるようになっています。

日本のことが理解できた時に、初めて本当にやりたいことに巡り会えました。国際関係の研究者である私は、中国と日本の文化交流にも興味があります。だから、将来は、両国を紹介するコラムニストになりたいです。

いまは、日本語教室の先生方からいろいろな助けをいただいて、心底ありがたいと思っています。ごせいちょう、どうもありがとうございました！

氏名	Okada Prawina (オカダ パウイーナ)	
テーマ	やっぱり日本語頑張らなくちゃあ	
教室名	小さな国際交流の会	

私はタイから参りました岡田パウイーナです。2018年に日本人と結婚して、香川県の丸亀に住む事になりました。最初は、日本語が分からなかったので、日本語の辞書を使ったり、英語で話したりしていました。それで、ひらがなとカタカナを勉強しました。

タイ語の語順は、英語とよく似ていて、主語・動詞・目的語です。日本語の語順は反対で、主語・目的語・動詞となっていて難しかったです。「私 買います 野菜」の様な変な日本語を話していました。その為、丸亀の日本語教室に行き、先生や友達と日本語で会話をしたり、「みんなの日本語」を勉強したりして、少しずつ分かる様になりました。

4年前に福岡に引っ越してきました。丸亀では夫の家族が居ましたが、福岡では夫が居ない時は、私は一人ぼっちで不安でした。しかし、色々な事が一人で出来る様になりました。

タイ料理店でアルバイトも出来る様になりました。お店の人は、タイ人ですが、日本人のお客様の接客をしなければならず、日本語での会話が必要でした。電話での注文の時、お客様から「辛さ控えめ」と言われました。でも、「控えめ」と言う言葉を沢山と勘違いして、辛さを増してしまいました。こんな失敗がいくつかあったので、日本語を一生懸命勉強しました。

先月、夫が長く出張する機会があったので、私は東京で一人旅をしました。ガイドブックを見て行きたい所に行き、観光地を巡り沢山の写真を撮りました。銀座には沢山のブランド店があり、人も多かったです。私は、買い物をしたりレストランで食事をしたりしました。

ある日、銀座で変な人が声をかけてきて、連絡先を教えると言われ、その人はずっとついて来ます。肩も触ってきました。とても怖かったです。自分に落ち着く様に言い聞かせ、「私に触らないで」、「離れて」と日本語で強く言いました。すると、変な人は私から離れていきました。

次の日、浅草に行きました。一人で写真を撮っていると、二人の美しい若い女性に会いました。まず、私が、二人の写真を撮ってあげました。その後、私の写真を撮って貰う様にお願いしました。日本人と写真を撮り合う事が出来て嬉しかったです。

あの時、私は「触らないで」、「離れて」と日本語で、強く言えなかったら、どうなっていたらと思うと怖くなります。

やっぱり、日本語頑張らなくちゃ！それに、良い事も悪い事も大事な経験だと思います。

これからは、漢字を沢山覚え、日本の文化や歴史、生活習慣について理解を深める事を目標にしたいです。そして、タイの事を日本の友達に教えてあげたいです。

ご静聴ありがとうございました。

氏名	Bushal Himel (ブサル ヒマル)	
テーマ	日本へ来て感じたこと	
学校名	日本グローバル学院	

みなさん、はじめまして。わたしは ブサル ヒマルと申します。

今年の4月に、ネパールから日本へ来ました。今まで、だいたい半年、日本で生活しています。今日は、私が今まで日本で生活して、感じたことをお話しします。

1つめは、サービスの良さです。コロナウイルスのえいきょうにより、日本では外国からの入国制限がありました。それが、今年の3月に緩和されると、多くの外国人が日本に入国しました。わたしが今年の4月に日本へきたとき、空港に人があふれていました。しかし、おどろいたことに、お客様に早いサービスをていきょうし、スムーズに入国手続きをしていました。さらに、早いだけでなく、ひじょうに丁寧に丁寧で親切なサービスをていきょうするスタッフを見て、わたしは、日本へ来る前にイメージした日本より、はるかにすばらしいと感じました。このとき、これから日本で生活することが楽しみになり、わくわくしていました。

二つ目は充実したけんこうほけんせいどです。2か月前に、わたしのともだちが自転車に乗っているとき、こけて腕を骨折してしまいました。しかし、ともだちは骨折しているのにすぐに病院へ行きませんでした。なぜなら、ネパールでは都市にある一部の大きな病院では保険が適用されますが、地方には設備がととのった病院もないし、保険も適用されず、高いいりょうひを払わなければならないからです。だから、ともだちはがまんして自然になおるのを待つことにしました。でも、腕が痛くてがまんができず、また学校の先生から病院へ行くことをすすめられ、病院へ行くことにしました。骨折の状態はひどく、手術と入院がひつようでした。ともだちはうでの状態はもちろんお金の心配もしていました。そんな友達が入院すると言ったとき、わたしはびっくりしました。話を聞くと、「高額医療制度」という制度があり、収入などによって自分で払う金額が少なくなるそうです。じっさいは30万円ぐらいかかるいりょうひが友達が退院するとき払ったのは、なんと5万円くらいでした。これがネパールだったらどうでしょうか。設備がととのった病院へ行くことも、大変だし、もっと高いお金を払わなければならないかと思えます。今、ともだちはぶじに退院して週に1回リハビリをしています。病院の先生方は外国人にもしんせつにしてくれるので、ともだちは安心して病院へ行っています。

わたしは日本へきてこのようにいいサービスをていきょうしてくれるのをじっさいにけいけんし、日本が先進国であることを実感しました。

ネパールではカーストや民族、しゅうきょうによって、びょうどうにサービスを受けられないなどいまだに多くの問題があります。そんな民族やしゅうきょうのちがいをなくすために、日本でけいけんしたことをネパールのともだちや子どもたちに伝えたいと思っています。日本のサービスのよさ、医療制度の充実など、じっさいに日本で生活することで、日本語の勉強がいのことも、学ぶことができました。わたしはこのけいけんを一人でも多くのネパール人に伝えて、ネパールの発展のために、ほんの少しでも役に立ちたいと思います。

以上でわたしのスピーチは終わります。

さいごまできいていただいてありがとうございました。

氏名	Mappanyompa Rukka Muhammad (マッパニヨンパ ルッカ ムハマド)	
テーマ	日本のルールとマナーを守りましょう	
学校名	愛和外語学院	

皆さん日本のルールやマナーについてどう思いますか。日本のルールやマナーを理解するのは、なかなか難しいですよ。私も日本に来たとき、たくさんの誤解をして、たくさんの間違いをしました。皆さんも同じだと思います。それは当たり前のことです。自分の国と比較すると、本当に違うんです。でも、私たちは今、日本にいるから、ルールはどんどん自然に慣れてくると思います。しかし、マナーはどうですか。マナーを守らない人は、日本人もですが特に外国人が多いです。だから、今日皆さんに伝えたいスピーチのテーマは「ルールとマナーを守りましょう」ということです。

マナーというのは、相手を思いやって行う行動のことです。日本では、マナーを守らない人、特に外国人をよくないとすることがあります。なぜ外国人がマナーを守らないのか、理由があります。1つは国によってマナーが違うからです。マナーは国民の性格や文化によって違うので、特に日本に来たばかりの外国人は難しいです。もう1つは、ルールやマナーを知っているのに、守る気がない問題です。例えば、ある日本人が公共の場でタバコを吸っていて、それを外国人が見てしまうことがあります。悪いことだとわかっているけど、それを見た外国人が、「あ、日本人もそのマナーを守っていないんだ。じゃあ私もやろう」という問題もあります。

私も日本に来たばかりの頃、ある経験をしました。エスカレーターでのマナーは知りませんでした。最初は左側に人がいたから右側に立ちました。その後、突然私は後ろから来た人に押しのけられました。そのとき私は「あ、わかった。右側は急いでいる人、左側は普通に立っている人」と理解しました。しかし、日本に何年か住んで、左も右も止まるのが正しいと知りました。つまり、多くの人もこのことを知らず、見て真似をただけなのです。エスカレーターで走ったり歩いたりするのは危険だということは、誰でも知っています。では、このような問題を避けるために、どうすればいいでしょうか。マナーやルールを知って守るために、どのような良い方法があるのか。日本人は静かな人が多いから、あまり人に注意しません。自分で気が付いて直すしかないんです。

私の経験から今日は皆さんに3点アドバイスをさせていただきます。1つ目は、「失敗から学ぶ」です。意味は、これまでの間違えたことから同じ失敗を繰り返さないようにします。2つ目、できれば自分の知っているルールやマナーについて、教えてあげてください。そうすることで、友達は自分と同じ失敗をしなくなります。3つ目は、SNSやインターネットから、ルールやマナーを学ぶことができます。例えば、日本のマナーの動画や生活のヒントなどです。確かに、SNSの情報が100%正しいわけではないんですが、それでも役に立ちます。

人間として、自分のために、そして未来のために、学ばなければなりません。外国人の皆さん、一緒にルールとマナーを守って、日本の生活を楽しみましょう。そして、日本人の皆さんへお願いします。外国人が正しいルールとマナーをきちんと身につけるために、良いロールモデルになっていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

氏名	Pham Thanh An (ファム タアン アン)	
テーマ	私の恩人	
学校名	GAG 日本語学院	

恩人といえば、みなさんはどんな人だと思いますか。

ある人にとっては命を救ってくれる人です。ある人にとっては、お金を貸してくれる人です。しかし、私にとっては単なる小さなことであっても自分に新たな刺激を与えて、世界観を変えてくれる人です。

日本へ来る前にこのようなニュースを何度も耳にしたことがあります。ベトナム人同士の喧嘩で他人に迷惑をかけたり、団体の規則を破ったり、コンビニで万引きしたり…。そのたびに、ベトナム人に対して「なんで自分の国に泥を塗るのか。自分の行動はどんな結果を招くかよく知っているのか。」と悪い印象を持ってしまいました。それで日本に来たばかりの頃は、自らベトナム人と目に見えない壁を作っていました。極端に言うと、同じ国で生まれた人たちとできるだけ触れ合うのを避けたかったです。

しかし、それは私の大きな間違いでした。皮肉なことに悪いと思っていた人たちは、アルバイトがなく困っていた時いい仕事を紹介してくれました。入学式の白シャツがなかったときはシャツを貸してくれました。何か日本の生活でわからなかったことがあったら、熱心にアドバイスをしてくれました。みなさんにとっては、それはなんでもないように思うかもしれませんが、私にとっては人生を変えるくらい大きな問題でした。

そして、自分の考えは甘すぎました。ベトナム人は必ずしも皆悪いというわけではありません。なんと実は私の周りにはいいベトナム人が多いのです。それだけではなく日本のような遠い国にいるベトナム人の存在こそ、自分の大きな力になると初めて実感しました。彼らの笑顔と声が私の心を暖め、冷たいと感じていた日本の生活を気が付いたら幸せに満ち溢れる生活に変えました。そして、みんなが抱いている夢を実現するために必死に頑張っている姿を見ると、「私も自分の夢のためにもっと必死に頑張らなきゃ」と彼らと目に見えない繋がりを感じます。

将来、自分もここで立派なベトナム人になりたいです。自分がしてもらったように、日本に来る後輩たちに手を差し伸べたいです。後輩に「日本に来たばかりの時は君のように、たくさんのベトナム人先輩から助けてもらったよ。ここにはまだ素晴らしいベトナム人がいるよ。自分の国の誇りに思っ、ここで充実した生活を送ってね。」と心から伝えたいです。

日本にいるベトナム人との出会いが私の考え方を変えました。皆さんはどうですか。みなさんに積極的な影響を与える人は誰ですか。どうやって恩を返しますか。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

氏名	符 騰 (フ トウ)	
テーマ	LGBTQの人々を理解してください	
学校名	学校法人麻生塾	

皆さんは自分の心の中で思っている人や物事を愛することに間違いがあると思いますか？ちょっと考えてみてください。私は間違いはないと思います。しかし、実はLGBTQの人々の愛が間違っているという偏見を持っている人がいます。LGBTQとは、彼らの恋愛観が普通とは違う人たちにすぎません。彼らの心の中では、男性は男性と恋をすることができて、女性も女性と恋をすることができて、どのような人でも好きになることは自由です。彼らは愛する人と暮らしたり、街を歩いたりしたいだけ。皆さんと同じような普通の生活をしたいだけ。そんな簡単なことがなぜ認められないのでしょうか。

実は私はゲイで、男性のことが好きです。このことを、先月行われた学内のスピーチコンテストで公表しました。このことで、周りのクラスメイトに「あなたは本当に勇気がいっぱいあるよね！」「君は怖くないか？」と言われました。ほとんどの言葉は私がみんなの前で公表したことに対する驚きと感心です。しかし、一部の人は「あなたはなぜもっと前に公表しなかったの？」という質問をしました。いつも「怖かったから」「友人に知られると、友情が壊れるかもしれないと思って」と答えていました。

皆さんは、「まだ公表していない人達」が毎日の生活が大変であることを考えたことがありますか？愛は制限されるべきでしょうか？愛は人間が生命以外に、生まれながらにして持っている、とても尊いものなのではないでしょうか。それなのに愛が制限されているような気がしています。人間は、生まれた時から死ぬまで、どんな人を好きになるかを制限されるべきではないと思います。

例えば、同性の人が結婚できることを認める法律はほとんどありません。同性婚はなぜ合法化されにくいのでしょうか。差別意識がなくても、無関心などの理由で、LGBTQで生きにくい思いをしている人の気持ちを想像してくれる人が少ないのかもしれませんが。今の社会でも、いろんな理由で差別されている人がいます。それは全然気にしない人もいますが、それでも、彼らの権利はもっと守られるべきだと思います。

ただ、ようやくインターネット上にLGBTQについての作品が見られるようになりました。例えば、台湾の「あなたの心に刻まれた名前」そして私の一番のお気に入りの「あなたの名前と呼んで」という小説です。これはいいことだと思います。世界が徐々にこのグループの人たちのことを受け入れ始めた証であると思います。

最後に私は皆さんが理解してくれれば、きっと自由に愛し合えるようになるに違いないと信じています。今日はこの発表がその為の小さな一歩になりますように。

ご清聴ありがとうございました。

第20回外国人による日本語スピーチコンテスト 審査について

1. 審査方法

日本語教室の部：審査員による採点及び来場者による投票

日本語学校の部：審査員による採点

2. 審査員

脇坂 真彩子 九州大学留学生センター 准教授

和田 玉己 九州大学留学生センター 非常勤講師

田中 顕治 福岡市総務企画局国際部 国際政策課長

中川 真智子 (公財)福岡よかトピア国際交流財団 地域日本語共育コーディネーター

古田 三志 日本語スピーチコンテスト実行委員会 委員長

3. 審査員の採点基準、制限時間および投票

評価項目	評価の観点	各審査員持点
(1) 日本語	発音の正確さ、日本語として自然に聞こえるか	10
(2) 内容	全体の構成はよいか、具体性や説得力はあるか	10
(3) 話し方	内容に適した表現ができているか、聴衆の顔を見ているか	10
合計		30

制限時間（4分00秒～4分30秒）に対する過不足は、以下の点数を審査合計点数から減点する。

日本語教室：過不足10秒ごとに1点

日本語学校：過不足10秒ごとに3点

4. 審査結果

日本語教室

	名前	出身地	テーマ	教室名
優秀賞	リレイヒ 李 玲飛	中国 遼寧省錦州市	日本に来て初めてわかった事	外国人のための日本語教室
第2位	オカダ パウイーナ Okada Prawina	タイ ナコーンラーチャシーマー	やっぱり日本語頑張らなくちゃあ	小さな国際交流会
特別賞	グエン ティ ハイ Nguyen Thi Hai	ベトナム ハノイ	仕事に教えられた事	さくら日本語教室

日本語学校

	名前	出身地	テーマ	学校名
優秀賞	マッパニヨンパ ルッカ Mappanyompa Rukka ムハマド Muhammad	インドネシア マカッサル	日本のルールとマナーを守りましょう	愛和外語学院
第2位	フトウ 符 騰	中国 四川省成都市	LGBTQの人々を理解してください	学校法人麻生塾

コンテスト当日の集合写真



日本語教室の出場者



日本語学校の出場者